



2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年11月12日

上場会社名 株式会社トランスジェニックグループ
コード番号 2342 URL <https://transgenic-group.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福永 健司
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理財務部長 (氏名) 渡部 一夫 <https://transgenic-group.co.jp/contact/>

半期報告書提出予定日 2025年11月13日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (決算説明動画(録画)配信予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	6,224	1.4	71	—	83	—	29	—
2025年3月期中間期	6,311	1.0	110	—	156	—	182	—

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 19百万円 (—%) 2025年3月期中間期 200百万円 (—%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	1.77	—
2025年3月期中間期	10.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	9,642	4,860	49.8
2025年3月期	9,586	4,856	49.7

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 4,799百万円 2025年3月期 4,762百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 3月期の連結業績予想(2025年 4月 1日～2026年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	13,500	3.8	150	—	90	—	40	—
								2.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期中間期	16,999,141 株	2025年3月期	16,999,141 株
2026年3月期中間期	345,922 株	2025年3月期	345,922 株
2026年3月期中間期	16,653,219 株	2025年3月期中間期	16,613,228 株

期末自己株式数

期中平均株式数(中間期)

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績見通しのご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、企業収益や雇用情勢は緩やかな持ち直しの動きが見られましたが、恒常的な物価上昇が家計の消費マインドの低下を招き、依然として景気は先行き不透明な状況が続いております。

創薬支援事業につきましては、株式会社トランスジェニックにおいて、従来の長期がん原性試験^{※1}と比較して短期間で発がん性の評価が可能となる「rasH2マウス^{※2}を用いた短期発がん性試験」や、2024年から受託開始した「中期皮膚発がん性試験」に加え「ラットを用いた中期大腸発がん性試験」の受託を開始するなど、高付加価値な新規サービスの拡充に努めました。また、受注試験の納期管理や事業運営の見直しによるコストの削減にも注力いたしました。この結果、前年同期比で大幅な増収になるとともに、損失は大幅に縮小いたしました。また、動物試験と細胞試験のデータを組み合わせた統合的な安全性・薬効評価サービスを構築し、開発初期段階から臨床試験計画策定に直結するエビデンスを提供できる体制を整えることを目的として、2025年7月に株式会社エーセルと業務提携を行いました。さらに、核酸医薬品開発における合成から臨床試験までを一貫して支援できる体制の構築等を目的として、2025年10月に北海道システム・サイエンス株式会社と業務提携を行い、今後の持続的な成長に向けて活動いたしました。

投資・コンサルティング事業につきましても、Eコマースによる小売販売は消費マインドの低下で苦戦したものの、卸売販売等の商社事業で取引拡大や価格交渉に注力することで利益を確保し、前年同期比で減収となりましたが、営業利益につきましては大幅な増益となりました。

これらの結果、当中間連結会計期間における当社グループの売上高は、6,224,853千円（前年同期比1.4%減）となりましたが、営業利益につきましては71,405千円の利益（前年同期は110,769千円の営業損失）となりました。経常利益につきましても、為替差益などの営業外収益46,402千円及び支払利息などの営業外費用34,559千円を計上した結果、83,248千円の利益（前年同期は156,532千円の経常損失）となりました。

また、親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、過年度消費税等戻入額などの特別利益37,428千円、子会社の拠点集約に伴う事業再編損や子会社の試験データ不正に関する特別調査費用等などの特別損失64,112千円、法人税、住民税及び事業税30,603千円、過年度法人税等10,262千円及び非支配株主に帰属する中間純損失18,807千円などを計上した結果、29,547千円の利益（前年同期は182,259千円の親会社株主に帰属する中間純損失）となりました。

① 創薬支援事業

当事業は、創薬の初期段階である探索基礎研究・創薬研究から、非臨床試験、臨床試験まで、創薬のあらゆるステージに対応できるシームレスなサービスをグループで展開しております。

納期管理を強化して比較的多額であった前期からの繰越受注試験を予定通り完了させるとともに、コスト面でも事業運営の合理化による削減を実施いたしました。この結果、売上高は937,711千円（前年同期比16.3%増）となり、前年同期比で大幅な増収となりました。また、営業利益につきましても75,224千円の損失（前年同期は188,669千円の損失）となり、前年同期比で大幅に縮小しました。

② 投資・コンサルティング事業

当事業は、M&Aによる新規事業の推進や事業承継等に係る助言・支援サービスを行っております。

当中間連結会計期間は、持続的な物価上昇傾向の中で消費マインドが低下し、Eコマースによる小売販売は苦戦しましたが、卸売販売等の商社事業は取引深耕による売上拡大や価格交渉による利益の確保に注力いたしました。この結果、売上高は5,290,204千円（前年同期比4.0%減）となり、前年同期比で減収となりましたが、営業利益につきましては、245,102千円（前年同期比27.8%増）となり、前年同期比で大幅な増益となりました。

※1 がん原性試験は、化学物質や製品が発がん性を持つ可能性があるかどうかを評価するための試験です。

※2 rasH2 マウスは、人由来のがん関連遺伝子であるHRAS (c-Ha-ras) を組み込んだトランスジェニックマウスです。発がん性の有無の評価が可能で、医薬品や化学物質の発がん性試験に広く使われています。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は6,789,207千円となり、前連結会計年度末に比べ90,310千円増加いたしました。これは主に、電子記録債権が199,375千円、商品及び製品が418,287千円、仕掛品が107,189千円それぞれ増加した一方、現金及び預金が343,007千円、受取手形、売掛金及び契約資産が198,761千円、前渡金が66,768千円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は2,852,930千円となり、前連結会計年度末に比べ34,572千円減少いたしました。これは主に、固定資産の償却等により有形固定資産の建物及び構築物が27,180千円、のれんの償却等により無形固定資産が19,142千円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は3,532,953千円となり、前連結会計年度末に比べ260,876千円増加いたしました。これは主に、短期借入金が395,000千円、1年内償還予定の社債が102,000千円増加した一方、前受金が78,967千円、受注損失引当金が60,883千円、その他の流動負債が102,257千円、それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は1,248,208千円となり前連結会計年度末に比べ209,932千円減少いたしました。これは主に、長期借入金が142,310千円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は4,860,976千円となり、前連結会計年度末に比べ4,794千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益を29,547千円計上し、非支配株主持分が32,493千円減少したことによるものであります。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(単位：千円)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△421,145	△568,787	△147,642
投資活動によるキャッシュ・フロー	△174,666	△35,758	138,908
財務活動によるキャッシュ・フロー	378,836	261,322	△117,514
フリー・キャッシュ・フロー (注)	△595,812	△604,546	△8,734
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,244,975	2,198,191	△46,784

(注) 営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの合計

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは568,787千円の支出となりました。これは、税金等調整前中間純利益56,563千円に必要な調整項目を加減して算定しております。その主な加算要因は、前渡金の減少額66,768千円及び非資金費用である減価償却費の計上額51,446千円であります。一方、主な減算要因は、棚卸資産の増加額515,775千円、前受金の減少額78,967千円、受注損失引当金の減少額60,883千円及び法人税等の支払額50,857千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは35,758千円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出22,481千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは261,322千円の収入となりました。これは主に、短期借入金の増加395,000千円及び長期借入れによる収入120,000千円により資金が増加した一方、長期借入金の返済による支出272,688千円及び連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出14,688千円により資金が減少したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期連結業績予測につきましては、2025年6月16日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,555,397	2,212,390
受取手形、売掛金及び契約資産	1,195,011	996,249
電子記録債権	22,970	222,346
商品及び製品	1,348,725	1,767,013
仕掛品	796,709	903,898
原材料及び貯蔵品	76,516	66,814
前渡金	581,812	515,044
その他	128,020	111,942
貸倒引当金	△6,268	△6,492
流動資産合計	6,698,896	6,789,207
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,069,994	1,042,813
土地	917,473	917,473
その他(純額)	67,554	77,015
有形固定資産合計	2,055,021	2,037,301
無形固定資産		
のれん	531,780	508,016
その他	22,143	26,764
無形固定資産合計	553,923	534,781
投資その他の資産		
投資有価証券	107,693	106,885
その他	181,476	184,817
貸倒引当金	△10,612	△10,855
投資その他の資産合計	278,557	280,847
固定資産合計	2,887,503	2,852,930
資産合計	9,586,399	9,642,137

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	413,459	440,412
未払金	223,351	240,138
短期借入金	680,000	1,075,000
1年内償還予定の社債	14,000	116,000
1年内返済予定の長期借入金	524,659	514,281
未払法人税等	51,661	30,400
前受金	1,020,758	941,791
賞与引当金	69,688	63,571
受注損失引当金	61,989	1,105
その他	212,508	110,251
流動負債合計	3,272,076	3,532,953
固定負債		
社債	109,000	50,000
長期借入金	1,247,401	1,105,091
退職給付に係る負債	68,774	67,651
その他	32,965	25,465
固定負債合計	1,458,140	1,248,208
負債合計	4,730,217	4,781,161
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	3,857,377	3,856,375
利益剰余金	927,674	957,222
自己株式	△116,016	△116,016
株主資本合計	4,719,036	4,747,581
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,817	18,313
為替換算調整勘定	24,657	33,903
その他の包括利益累計額合計	43,474	52,217
新株予約権	200	200
非支配株主持分	93,470	60,977
純資産合計	4,856,181	4,860,976
負債純資産合計	9,586,399	9,642,137

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	6,311,881	6,224,853
売上原価	5,197,343	5,001,037
売上総利益	1,114,537	1,223,815
販売費及び一般管理費	1,225,307	1,152,410
営業利益又は営業損失(△)	△110,769	71,405
営業外収益		
受取利息	252	1,881
為替差益	—	35,407
受取保険金	2,397	2,525
貸倒引当金戻入額	4,271	—
その他	4,693	6,587
営業外収益合計	11,615	46,402
営業外費用		
支払利息	18,448	26,448
為替差損	2,664	—
買収関連費用	27,705	—
その他	8,558	8,111
営業外費用合計	57,377	34,559
経常利益又は経常損失(△)	△156,532	83,248
特別利益		
固定資産売却益	74	—
受取補償金	—	10,596
過年度消費税等戻入額	—	26,832
特別利益合計	74	37,428
特別損失		
固定資産除却損	5,658	—
事業再編損	—	34,599
退職給付費用	32,884	—
特別調査費用等	—	29,512
特別損失合計	38,543	64,112
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△195,001	56,563
法人税、住民税及び事業税	24,216	30,603
過年度法人税等	—	10,262
法人税等調整額	△34,164	4,958
法人税等合計	△9,948	45,823
中間純利益又は中間純損失(△)	△185,053	10,740
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△2,793	△18,807
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△182,259	29,547

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	△185,053	10,740
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,849	△503
為替換算調整勘定	△1,798	9,246
その他の包括利益合計	△15,647	8,742
中間包括利益	△200,700	19,483
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△197,907	38,290
非支配株主に係る中間包括利益	△2,793	△18,807

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△195,001	56,563
減価償却費	64,441	51,446
のれん償却額	25,441	23,564
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,271	467
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,353	△6,117
受注損失引当金の増減額(△は減少)	2,071	△60,883
受取利息及び受取配当金	△348	△1,961
支払利息	18,448	26,448
売上債権の増減額(△は増加)	△155,344	△613
棚卸資産の増減額(△は増加)	△267,707	△515,775
仕入債務の増減額(△は減少)	87,282	26,953
前渡金の増減額(△は増加)	△224,219	66,768
未払金の増減額(△は減少)	△40,954	3,722
前受金の増減額(△は減少)	295,847	△78,967
その他	△52,996	△89,162
小計	△444,955	△497,546
利息及び配当金の受取額	305	1,705
利息の支払額	△18,390	△26,345
法人税等の支払額	△57,158	△50,857
法人税等の還付額	99,053	4,256
営業活動によるキャッシュ・フロー	△421,145	△568,787
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,040	△540
有形固定資産の取得による支出	△73,968	△22,481
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△80,382	—
その他	△18,275	△12,737
投資活動によるキャッシュ・フロー	△174,666	△35,758
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	—	50,000
社債の償還による支出	△7,000	△7,000
短期借入金の増減額(△は減少)	652,000	395,000
長期借入れによる収入	50,000	120,000
長期借入金の返済による支出	△241,051	△272,688
リース債務の返済による支出	△8,583	△5,748
長期未払金の返済による支出	△8,067	△3,418
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△8,813	△14,688
配当金の支払額	△49,647	△134
財務活動によるキャッシュ・フロー	378,836	261,322
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,150	△323
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△221,126	△343,547
現金及び現金同等物の期首残高	2,466,101	2,541,738
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,244,975	2,198,191

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	創薬支援事業	投資・コンサル ティング事業			
売上高					
外部顧客への売上高	803,128	5,508,752	6,311,881	-	6,311,881
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,000	45	3,045	△3,045	-
計	806,128	5,508,798	6,314,926	△3,045	6,311,881
セグメント利益又は損失(△)	△188,669	191,717	3,048	△113,817	△110,769

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△113,817千円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	創薬支援事業	投資・コンサル ティング事業			
売上高					
外部顧客への売上高	934,711	5,290,141	6,224,853	-	6,224,853
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,000	62	3,062	△3,062	-
計	937,711	5,290,204	6,227,916	△3,062	6,224,853
セグメント利益又は損失(△)	△75,224	245,102	169,878	△98,472	71,405

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△98,472千円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。